

乾燥する冬を最も実感するのが手だ。特に女性はそうだろう。ケアをしないとカサカサ荒れて、ヒビが入れば痛みで家事もやりにくくなる。分かってはいるものの、忙しいのでついお手入れを怠りがちな人も多いのでは。それなら手肌ケアの基本を押さえながら、手軽にできる「ここからやってみませんか?」(川村達哉)

中野あいさん



食器洗い剤の洗い逃しポイント

手肌に優しい洗剤

手や指のトラブルの原因と思われる家事について、P&Gが4月、全国の20~50代の既婚女性600人を対象にインターネットで調べた(複数回答)グラフ。

その結果、1位は83・0%で圧倒的に食器洗い。特に20代では91・3%、30代では88・0%と若い世代の割合が高かった。2位以下は料理、お風呂の掃除、洗濯……と続く。

「年齢推測する部位」2位

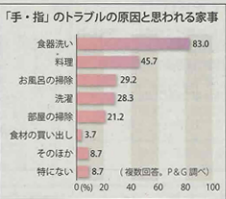
また、「相手の年齢を推測するために見てしまう部位」を聞くと、顔(1)つも見ている「思わず見てしまう」ことがある(の合計)の89・9%に及び、

手・指が69・8%(同)と2番目に多かった。

「手・指は年齢が出やすいですが、ケアをすれば、見た目の年齢よりも若く見えます。自分に自信も持てるし、家族に褒められれば、優しく、いきいき輝くようになります。茶道をしている70代の女性が手の美容をされています。手の所作はとても大切なもの。周りの方々を不快にさせたくない」と美容の本質を改めて感じました。

美容皮膚科、美容内科医で「あおいクリニック銀座」(東京・銀座)院長の中野あいさんは話す。

手肌ケアの基本については、「忙し



い人は一日一回、寝る前に化粧水に近いローションタイプの手になじませた上にクリームを塗る。これを続けるだけで随分、違ってくる。また、キッチン用洗剤の中には手肌に優しいタイプがあり、うるおいを流しにくくする成分が入っています。選択肢として試してみる価値はあると思います。」

千葉県松戸市のマツモトキヨシ新松戸駅前店を訪ねると、台所用洗剤の最上段に、手肌に優しい洗剤が並んでいる。「注目商品の一つ。ようやく冬が近づいてきたので、肌荒れに敏感な人の関心も高まるのでは」と店長の田中義則さんは言う。

水分量の90%以上を保持

数ある商品の中で、P&Gの「ジヨイモイストケア」は「粘性が高いのでスポンジの上にしっかりとどまります。洗淨力と手の美しさを守ることの両立は簡単ではありません。汚れを落とす界面活性剤が単体で入っている肌に亀裂ができて、うるおいを逃してしまいがちです。技術が向上して界面活性剤を手肌の内部に入りにくい構造にすることができました」と同社広報の羽牟綾子さんは話す。

食器洗い前後の手肌水分量を皮膚科医が計測。90%以上保持という高い数値だったという。

「見た目、香りといった使用感も大切ですね。モイストケアは乳液のような、とろりとしたイメージ。そして香りが、洗っている間に3タイプ楽しめます。日本人は一日平均40分、食器洗いをする国民です。一度、お試ししたいだけは」と羽牟さん。

お母さんの手がきれいになれば、さらに優しくなってく。家族みんなが笑顔で幸せになるだろう。



台所用洗剤もさまざま…。この秋冬は手肌に優しいタイプが注目されている—千葉県松戸市のマツモトキヨシ新松戸駅前店